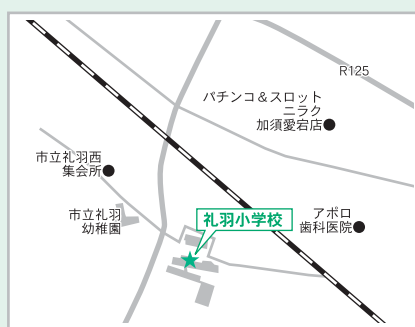


ご存じですか！文化財 「有山翁ノ碑」

6



問合せ
生涯学習課
(☎内線352)



所在地 礼羽560

今回紹介する文化財は、明治初期に礼羽地区の教育に尽力した礼羽小学校第3代校長有山修輔氏の功績をたたえる石碑です。

この石碑は大正13年（1924年）4月に、旧礼羽村民全員によって礼羽小学校校庭に建立されました。石碑には「世につくす君がいさをは 菊の花 千代もかはからぬ かをりあるらん」と刻まれています。

有山氏は安政元年（1854年）に平永村（現在の加須地区志多見）に生まれ、医者であった有山玄伯氏を師事し、その後も忍藩医の平井桐氏から学びました。

明治9年（1876年）に礼羽小学校で教壇に立つようになり、明治12年（1879年）に有山玄伯氏の遺志により有山家を継ぎ、明治39年（1907年）に校長として職を辞するまで、学校教育に全力を注ぎました。

有山氏は学校を勇退した後も学務委員として小学校の事務を行いながら、社会教育の重要性を訴え、礼羽図書館を作り、子どもたちに読書のよさを勧めました。

これらの功績を長く後の世に伝えようとした礼羽村民たちによって、石碑は建てられました。



紹介者 松本喜芳さん（礼羽）